

天理市 DX 人材育成

令和6年6月
天理市

1. 背景・目的

近年の人口減少、市役所職員の減少が進む中で、持続可能な行政サービスを提供していくためには、デジタル技術を活用して住民の利便性を向上させるとともに業務の効率化を図らなければなりません。

そのような中、デジタル技術の活用を全庁に広めて市役所を変革し、将来にわたって安定的にDXの取組を推進するため「DX推進リーダー」を育成します。

2. 推進リーダーの役割

- ・最新のデジタル技術の知識や活用方法を研修等により習得し、令和6年度の住基システム標準化及び令和7年度の窓口DXSaas等に向けて、市役所全体のDXを推進する。
- ・RPAのシナリオ作成やChatGPT等の技術を積極的に活用できるよう、部署にこだわらず該当業務を積極的に検討し業務効率化につなげていく。
- ・習得した技能を他の職員にも広げ、組織横断的に市役所全体にDXの取組みを広げていく。

3. 育成計画

- ・令和6年度から令和8年度までの3年間を重点取組期間とし、6名×3年で計18名のDX推進リーダーを育成
(令和6年度は、5月1日に6名の職員をDX推進リーダーに任命)
- ・市役所全体の取組としてDXを推進するため、情報政策担当だけでなく、各部局の若手職員(30代前半から40代前半)の中から、業務をより良いものに変革していく意欲がある職員を選出
- ・研修内容は、RPA等デジタル技術取得研修、情報処理関連資格取得研修、全国市町村国際文化研修所(JIAM)派遣研修、ITリテラシー向上研修等を受講予定

4. 処遇

- ・勤勉手当の加算等